

市議会7月定例会を開催

いわき市議会七月定例会が、七月十六日から八月四日までの二十日間の会期で開催されました。議会では、一般・特別・企業会計を合わせて、総額二十九億二千四百四十八千円に上る補正予算などが審議され、二十四議案が可決・認定・同意されました。

市長からの行政報告

○新型コロナウイルス感染症の対応状況について

「感染防止いわきスタイル」として「新しい生活様式」を定着させることに加え、QRコードを活用した「市あんしんコロナお知らせシステム」の運用を開始するなど、安全・安心な地域社会の構築に向けて積極



行政報告をする清水市長

的に取り組んできたことを報告しました。

市民の皆さんの命と健康、生活の安全と安心を確保することを第一に、新型コロナウイルスに負けない社会経済活動の進展に向け、関係団体などと連携を図りながら、感染防止対策と経済・雇用対策を講じていくと述べました。

○令和二年度いわき市総合防災訓練の実施状況について

大雨による水害や土砂災害を想定し、初動対応に重点を置いた市災害対策本部の設置運営訓練のほか、市内十三地区において新型コロナウイルス感染症対策や垂直避難対策を講じた避難所開設・運営訓練などを実施したことを報告しました。今後本格化する台風など

に備えるため、初動対応の迅速化や危機管理体制の充実・強化を図り、市民の皆さんの安全・安心の確保および「災害・災難を克服する力強いまち・いわき」の構築に、全力で取り組んでいくと述べました。

○小野町一般廃棄物最終処分場に係る再搬入計画への対応について

小野町一般廃棄物最終処分場に係る再搬入計画の撤回と同処分場の早期閉鎖に向けた最終覆土工事に着手するよう、改めて事業者に申し入れをしたことを報告しました。

同処分場は、本市の主要な水道水源であり、農業用水として利水されている夏井川の上流部に位置していることから、安全性を将来にわたり確保するには、同



市総合防災訓練で情報伝達などの初動対応を確認する参加者

計画は決して容認できないため、引き続き県に対し意見していくと述べました。

主な議案

○いわき市地域医療を守り育てる応援基金条例の制定について

地域医療を守り育てる施策や感染症のまん延防止に係る施策を推進し、将来にわたり市民の皆さんが安心して良質な医療を受けるこ

主な補正予算

- ▶国・県補助事業の確定・内示およびその他市政執行に関する経費＝24億1,826万円
- ▶新型コロナウイルス感染症対策に関する経費＝5億578万8千円

とができる体制を確保するための財源として、効果的に活用できるように新たな基金を設置するため、本条例を制定しました。

○川部財産区管理委員選任の同意を求めることについて

・芳賀茂（再任）
・鈴木榮一（再任）

10月1日(木)から運用開始 Net 119緊急通報システム

○お問い合わせ
消防本部指令課
☎22-0123 FAX23-9704
✉shobo-shirei@city.iwaki.lg.jp

音声によらない通報をサポート

市消防本部では、音声による一一九番通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォンなどを使って、円滑に通報ができる「Net 119緊急通報システム」の運用を十月一日(木)から開始します。事前に登録し、緊急時に備えましょう。

○登録申請

▼対象者 市内に居住または通勤・通学し、聴覚・言語障がいなどにより音声による一一九番通報が困難な方

▼利用可能な端末 インターネット接続および位置情報の取得、電子メールの利用が可能な携帯電話・スマートフォンなど

▼利用料 無料（通信料は利用者負担）
▼申し込み方法 同課、各消防署・分署・分遣所・地区保健福祉センターなどの窓口で
※申請書は市消防本部ホームページからも入手できます。詳しくは、同課へお問い合わせください。

Net 119緊急通報システムの3つの利用ポイント

分かりやすく簡単な画面操作

外出先でも詳細な通報位置を知らせることができる

消防本部と文字で会話ができる

どこからでも通報が可能

聴覚障がいのある方
言語障がいのある方

利用者

通報を受信

通報

消防本部

出動